北陸信越運輸局管内における事業用自動車に係る重大事故発生状況

１．事業用自動車の重大事故発生状況（全報告件数）

事業用自動車の重大事故の発生件数は、バス５７件（対前年比 116.3%）、ハイ・タク６件（対前年比 54.5%）、トラック１６８件（対前年比 118.3%）、全体で２４４件（対前年比 120.8%）であり、前年度と比較して４２件増加しています。

事業用自動車の重大事故による死者数は、全体で３０人（対前年比 142.9%）となり前年と比較して９人増加しています。

同様に負傷者数については、全体で１０７人（前年比 89.2%）となり前年と比較して１３人減少しています。

表１　業態別・使用の本拠の位置別の重大事故報告件数（令和７年）

業態 / 使用の本拠の位置		バス			ハイ・タク			トラック			軽貨物			計		
		件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数
新潟		18	0	7	2	0	1	76	16	33	4	0	0	100	16	41
	対前年比	−8	0	−17	−3	0	−3	+12	+6	+11				+1	+6	−9
長野		20	0	4	2	0	2	37	6	25	8	0	1	67	6	32
	対前年比	+7	0	+3	−1	0	−1	+10	+2	+5				+16	+2	+7
富山		8	0	3	1	0	2	29	4	12	0	0	0	38	4	17
	対前年比	+4	0	+2	−1	0	−1	+10	+3	−2				+13	+3	−1
石川		11	0	6	1	1	0	26	2	9	1	1	2	39	4	17
	対前年比	+5	0	+6	0	+1	−4	−6	−4	−15				−1	−3	−13
局計		57	0	20	6	1	5	168	28	79	13	1	3	244	30	107
	対前年比	+8	0	−6	−5	+1	−9	+26	+7	−1	0	0	0	+42	+9	−13
		116.3%	0.0%	76.9%	54.5%	#DIV/0!	35.7%	118.3%	133.3%	98.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	120.8%	142.9%	89.2%

２．事業用自動車の重大事故発生状況（事業用自動車が第１当事者となった件数）

事業用自動車が第１当事者となった重大事故の発生件数は、バス１３件（対前年比 144.4%）、ハイ・タク４件（対前年比 44.4%）、トラック５５件（対前年比 90.2%）、全体で７５件（94.9%）と前年と比較して７件減少しています。

また、死者数は全体で８人（対前年比 53.3%）と前年と比較して７人減少しています。

表２　業態別・使用の本拠の位置別の事業用自動車が第１当事者となった重大事故件数

（令和７年）

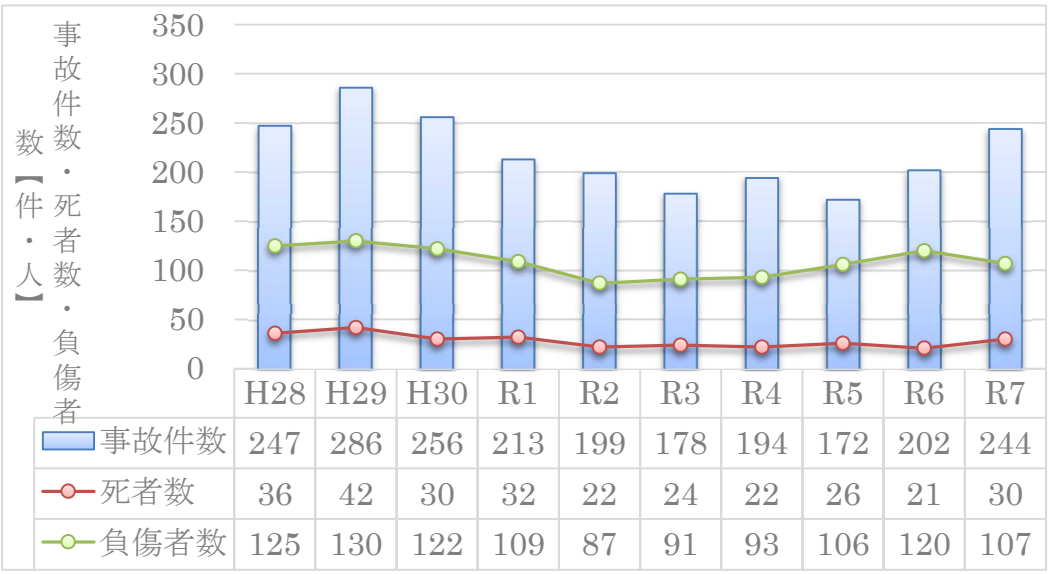
業態 / 使用の本拠の位置		バス			ハイ・タク			トラック			軽貨物			計		
		件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数
新潟		4	0	1	2	0	1	23	5	14	1	0	0	30	5	16
	対前年比	−2	0	−2	−2	0	−3	0	0	0	+1	0	0	−4	0	−5
長野		2	0	2	1	0	2	15	1	11	2	0	1	20	1	16
	対前年比	0	0	+1	−1	0	−1	+6	−2	+5	+2	0	+1	+5	−2	+5
富山		3	0	2	1	0	2	10	2	6	0	0	0	14	2	10
	対前年比	+2	0	+2	−1	0	−1	−2	+1	−4	0	0	0	−1	+1	−3
石川		4	0	6	0	0	0	7	0	5	0	0	0	11	0	11
	対前年比	+4	0	+6	−1	0	−4	−10	−6	−10	0	0	0	−7	−6	−8
局計		13件	0人	11人	4件	0人	5人	55件	8人	36人	3件	0人	1人	75件	8人	53人
	対前年比	+4	0	+7	−5	0	−9	−6	−7	−9	+3	0	+1	−7	−7	−11
		144.4%	0.0%	275.0%	44.4%	0.0%	35.7%	90.2%	53.3%	80.0%	#DIV/0!	0.0%	#DIV/0!	94.9%	53.3%	84.1%

３．事業用自動車の重大事故発生状況の推移

過去１０年における事業用自動車の重大事故の発生件数の推移は図１のとおりです。

事故件数は、増加減少を繰り返していますが、令和７年は昨年度と比較して、４２件増加しており、２４４件になっています。負傷者数は１０７人となり、昨年度から１３人減少しています。また、死者数は３０人で、昨年度から９人増加しています。

図１　管内事業用自動車の重大事故発生状況推移（過去１０年）

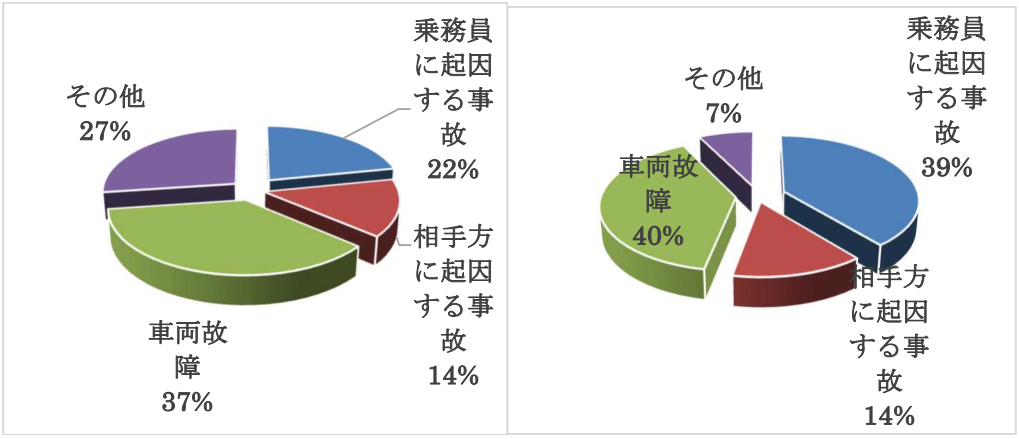


	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
事故件数	247	286	256	213	199	178	194	172	202	244
死者数	36	42	30	32	22	24	22	26	21	30
負傷者数	125	130	122	109	87	91	93	106	120	107

４．重大事故原因の大別及び重大事故の主な原因

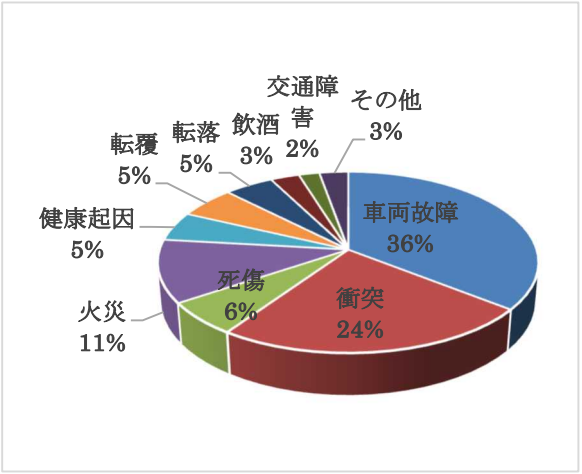
重大事故原因の大別（図３）では、１番多いのは車両故障（37%）、２番目は乗務員に起因する事故（22%）、３番目に相手方に起因する事故（14%）の順となっており、前年と比較すると、ほぼ同様の傾向になっています。

図３　重大事故原因の大別（令和７年）　　参考　重大事故の大別（令和６年）

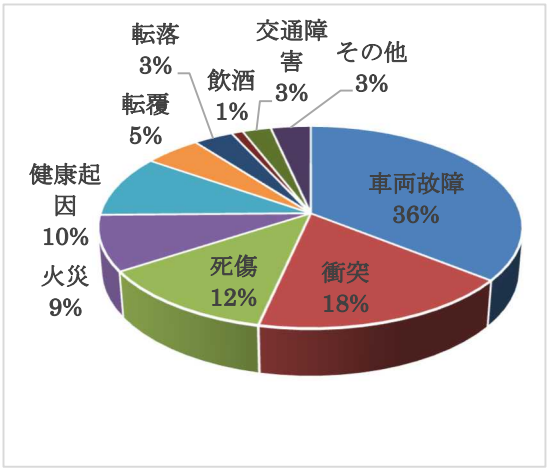


重大事故の主な原因（図４）では、１番多いのは車両故障（36%）、２番目は衝突事故（24%）、３番目が死傷事故（6%）となっています。前年度と比較して、事故の発生傾向に大きな変化はありません。

図４　重大事故の主な原因（令和７年）



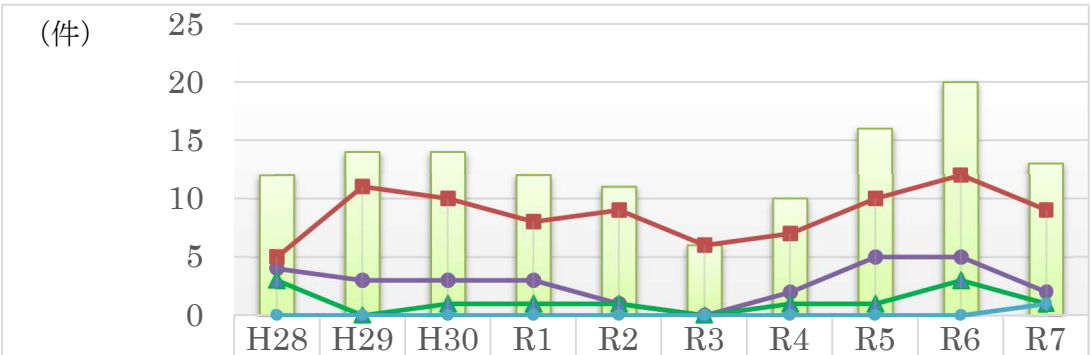
参考　重大事故の主な原因（令和６年）



５．事業用自動車の健康起因事故発生の推移

過去１０年における事業用自動車の健康起因事故（運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続することができなくなったもの）の推移は図５のとおりです。令和４年度から増加傾向にありましたが、令和７年度においては減少しています。

図５　管内事業用自動車の健康起因事故発生状況推移（過去１０年）

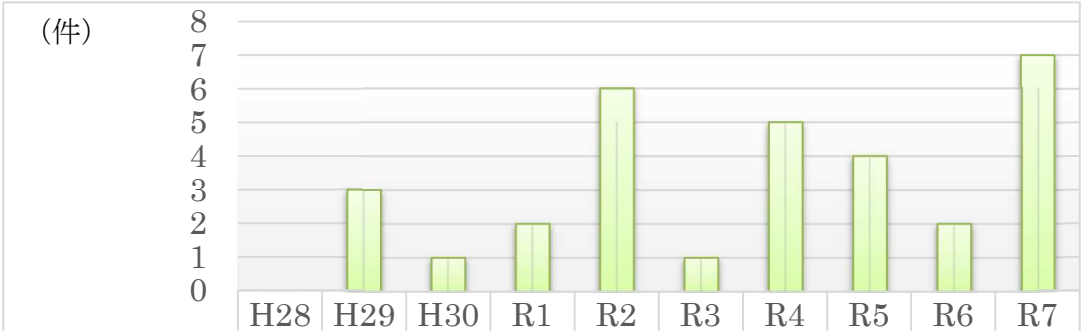


	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
合計	12	14	14	12	11	6	10	16	20	13
バス	4	3	3	3	1	0	2	5	5	2
ハイタク	3	0	1	1	1	0	1	1	3	1
トラック	5	11	10	8	9	6	7	10	12	9
軽貨物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

６．事業用自動車の飲酒運転発生の状況

過去１０年における事業用自動車の飲酒運転の発生の推移は図６のとおりです。令和４年からは減少傾向にありましたが、令和７年は増加しています。飲酒運転はトラック業態で占められている状況です。

図６　管内事業用自動車の飲酒運転事故発生状況（過去１０年）



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
計	0	3	1	2	6	1	5	4	2	7
バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイ・タク	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
トラック	0	3	1	2	5	1	5	4	2	6
軽貨物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0